I·O DATA

CBIDE Family

CBIDE
CDP-FX24/CBIDE
HDP/CBIDEシリーズ
取扱説明書

ユーザー登録カード綴じ込み

株式会社 アイ・オー・データ機器

7944-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS,MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

CBIDE Family 取扱説明書
1998.May.12 7944-02
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1997-1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

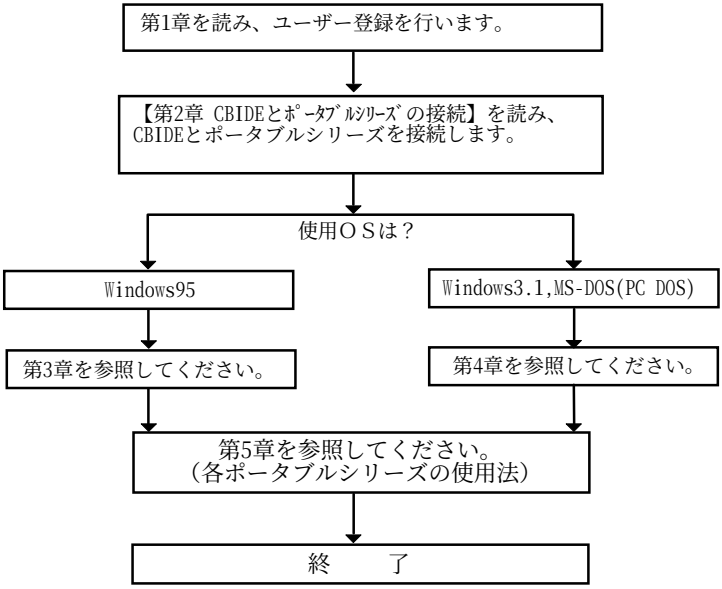
Verシール

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

・本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



・呼び方

呼び方	意　味
ポータブルシリーズ	CDPシリーズ…CDP-FX24、CDP-TX10、CDP-TX6、CDP-TX4
	HDPシリーズ…HDP-4.1G、HDP-3.2G、HDP-2G、HDP-1.6G、HDP-1G
	MOP-230
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
Windows	Windows95及びWindows3.1の総称

・ハードウェア構成

本書では、以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

《ドライブ構成》

A：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置
ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROM装置

PC-9821シリーズの場合

《ドライブ構成》

A：ハードディスク装置
ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

B：ハードディスク装置

C：フロッピィディスク装置3.5インチ
(1.44MB/1.25MB/720KB)

D：CD-ROM装置

はじめに.....i
目次.....iii

第１章 ご使用になる前に……1
1.1 特徴..... 1
1.2 箱を開けたら..... 3
1.3 動作環境..... 6
1.4 取り扱い及び使用上の注意..... 8
1.5 実行用ディスクの作り方.....10

第２章 CBIDEとﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙｼﾘｰｽﾞの接続……11

第３章 日本語Windows95で使用するには …… 13
3.1 Windows95へのインストール方法.....13
3.1.1 インストールの前に 13
3.1.2 インストール.....18
3.1.3 CBIDEとパソコンの接続 20
3.1.4 インストール終了後の確認.....21
3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項.....25
3.3 インストールされた情報を削除するには 28

第４章 他のOSで使用するには ……30
4.1 Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)へのインストール方法.....30
4.1.1 インストールの前に 30
4.1.2 インストール 31
4.1.3 CBIDEとパソコンの接続 33
4.1.4 インストール終了後のCONFIG.SYSの例.....34
4.2 ドライバの詳細.....37

第５章　各ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙｼﾘｰｽﾞで使用するには …… 39

5.1　CDPシリーズを使用する場合 39
5.1.1　各部の名称･機能 39
5.1.2　CDの出し入れ 41
5.2　HDPシリーズを使用する場合 43
5.2.1　各部の名称･機能 43
5.2.2　取り付け方法 44
5.2.3　HDPシリーズのフォーマット方法 45
5.3　MOP-230を使用する場合 56

付録１　困った時には……60

●Windows95でご使用の場合 60
●Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)でご使用の場合 66
●CDPシリーズの一般的なトラブル 69

付録２　ハードウェア仕様……72

サポートセンターへのお問い合わせ 74
サポートソフトのバージョンアップ 75
修理について 76

第1章 ご使用になる前に

この章では、CBIDEを使用する上で必要な事項を説明しますので、必ず最初にお読みください。

1.1 特徴

[CBIDE]

◆業界初！従来の16bitカード動作とCardBus対応32bitカード動作の両モードがカード上のモード切り替えスイッチにより対応可能。

◆PCカードスロットへPCカード規格準拠(Type II)CardBus/16bit両用 IDE PCカードを装着し、デバイスドライバをインストールするだけの簡単操作

◆HOT PLUG(活線挿抜)に対応※

パソコンが動作中であっても、PCカードの挿入や抜き取りが可能です。

(※ 一定の操作手順や確認が必要となります。)

[CDP-FX24/CBIDE]

◆CardBus対応IDE PCカード「CBIDE」だから24倍速(最大3600KB/秒) CD-ROMドライブの性能をフルに発揮します。

◆ノートパソコンとの持ち運びに便利な薄型・軽量24倍速CD-ROMドライブ

◆電動イジェクト

◆Photo CD(マルチセッション)※1,CD-DA(音楽CD)※1,
CD-ROM XA(ビデオCD)※1,2,ビデオCD,CD Extra[CD PLUS]※1 対応

注 意

※1 本製品には、Photo CD,音楽CD,ビデオCDは添付されていません。

※2 ビデオCDの再生には、再生ソフトまたは対応したハードウェアが必要です。

[HDP/CBIDEシリーズ]

◆ノートパソコンとの持ち運びに便利なコンパクトハードディスクドライブ。

◆CardBus対応IDE PCカード「CBIDE」採用によりハードディスクの性能をフルに引き出します。

1.2 箱を開けたら

・同梱構成品

●CBIDE

No.	内容物	個数	備考
1	PCカード規格準拠(TypeⅡ) CardBus/16bit両用 IDE PCカード	1枚	CBIDE
2	接続ケーブル	1本	
3	取扱説明書	1冊	本書
4	CBIDEサポートソフト	1枚	3.5インチ 1.44MB 2HD
5	ハードウェア保証書	1枚	
6	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
7	Verシール	1枚	
8	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	

●CDP-FX24/CBIDE

No.	内容物	個数	備考
1	CD-ROMドライブ	1台	CDP-FX24
2	PCカード規格準拠(TypeⅡ) CardBus/16bit両用 IDE PCカード	1枚	CBIDE
3	接続ケーブル	1本	
4	ACアダプタ	1個	
5	取扱説明書	1冊	本書
6	CBIDEサポートソフト	1枚	3.5インチ 1.44MB 2HD
7	ハードウェア保証書	1枚	
8	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
9	Verシール	1枚	
10	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	
11	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

●HDP/CBIDEシリーズ

No.	内容物	個数	備考
1	ハードディスクドライブ	1台	HDP-4.1GまたはHDP-3.2G
2	PCカード規格準拠(Type II) CardBus/16bit両用 IDE PCカード	1枚	CBIDE
3	接続ケーブル	1本	
4	ACアダプタ	1個	
5	取扱説明書	1冊	本書
6	CBIDEサポートソフト	1枚	3.5インチ 1.44MB 2HD
7	ハードウェア保証書	1枚	
8	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
9	Verシール	1枚	
10	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	
11	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

・ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。

オンラインユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードは、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

〈ハガキによる登録〉

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注 意

1)弊社では、サポートセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。

2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

■対応機種

◎CardBus対応32bitカード動作

…PCカード規格Type II 準拠のCardBusスロット(32bit)を装備し、Windows95 OSR2(Ver4.00.950B)以降がインストールされたマシン

◎16bitカード動作…PCカード規格Type II 準拠のPCカードスロット(16bit)を装備したマシン

NEC PC98-NXシリーズ (WindowsNTインストールモデルを除く)

mobio NXシリーズ※,Lavie NXシリーズ,Aile NXシリーズ,VersaPro NXシリーズ

※mobio NXシリーズでは、CardBusモードで使用できません。

DOS/Vマシン※　CPU i386SX以上

弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

NEC PC-9821シリーズ

PC-9821Np,Ns,Nd,Nd2,Ne2,Ne3,Nm,Nf,Nx,Nb7,Nb10,Na7,Na9,Na12,Na13,Na15,Nr12,Nr13,Nr15,Nr150,Nr166,Nw133,Nw150,La7,La10,La13,Ld,Lt,Lt2,Ls12,Ls13,Ls150



注 意

NEC PC-9821シリーズのWindows95環境でCBIDE16bitモードを使用する場合、「98NOTEメニュー」で『16Mバイトシステム空間』の設定が「使用する」になっていないとCBIDEの性能はフルに発揮できません。

■対応OS

・NEC PC98-NXシリーズ

日本語Windows95

・DOS/Vマシン

日本語Windows95,
日本語Windows3.1(MS-DOS Ver6.2/V(PC DOS J6.1/V)以降),
MS-DOS Ver6.2/V(PC DOS J6.1/V)以降

・NEC PC-9821シリーズ

日本語Windows95,
日本語Windows3.1(MS-DOS Ver6.2以降),
MS-DOS Ver6.2以降



注 意

Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)環境では、PCカードドライバ(ソケットサービス／カードサービス[リリース2.0以上])が必要です。

例) IBM Play At Will 2.0、SystemSoft CardSoft 3.1
Phoenix PCM puls 3.0

DOS/Vマシンの場合は、標準でPCカードドライバが添付されてない場合がありますのでご確認ください。PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。

■接続可能な機器

弊社製ポータブルシリーズ

CDPシリーズ…CDP-FX24、CDP-TX10、CDP-TX6、CDP-TX4
HDPシリーズ…HDP-4.1G、HDP-3.2G、HDP-2G、HDP-1.6G、HDP-1G
MOP-230



注 意

本製品添付のカードではSCSI機器の接続はできません。

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ PCIDEまたはPCIDE IIをご使用の方で、あらたにCBIDEをご使用になる方へ…
HDPシリーズ、MOP-230でフォーマットを行う際は、必ずCBIDE添付のフォーマッタASPIFORM.EXEまたはIDEFMT.EXEをご使用ください。HDP/PCIDEシリーズまたはMOP-230/PCIDEに添付のASPIFORM.EXE、IDEFMT.EXEは絶対に使用しないでください。CBIDEデバイスドライバをインストール後はPCIDEまたはPCIDE II使用時でもCBIDE添付のASPIFORM.EXE、IDEFMT.EXEをご使用ください。
過去にお使いのIDEFMT.EXEはハードディスクから削除してください。

・ 本製品は非常に精密にできておりますので、以下の注意事項を守ってお使いください。
- 高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
- コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- 無理な加重をかけないでください。
- 濡らさないでください。
- 落とさないでください。
- CBIDEを使用する場合には、必ず周辺機器を接続し、周辺機器の電源を先に入れてからパソコンを起動してください。
- 分解や改造などをしないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重いものを上に載せないでください。
- 電圧仕様が異なるACアダプタをご使用にならないでください。

・ 本製品の内部の点検･調整･修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。

・ 保証について

◎保証期間
･保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
･弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲
次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

[CBIDE]
・CardBus PCカードは複数同時に使用できない場合があります。
その場合、CBIDEカードを16Bitモードに切り替えて使用するか、もしくは他の
CardBus PCカードと同時には使用しないようにしてください。
・CBIDEカード(CardBusモード)と他の16Bit PCカード、またはCBIDEカード(16Bitモード)と他のCardBus PCカードを同時に使用する場合、PCカードスロットにカードを同時に挿入したままOSを起動すると、OSの起動中に止まってしまう場合があります。
その場合、CBIDEカード(16Bitモード)または、他の16Bit カードをPCカードスロットから抜いた状態でOSを起動し,OSの起動完了後にPCカードスロットに挿入するようにしてください。

[CDP-FX24/CBIDE]
・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

[HDP/CBIDEシリーズ]
・記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することができません。
大切なファイルはあらかじめバックアップをする様にしてください。
・電源を切る場合は、アクセスランプを見てリード・ライトが行われていないことを確認してください。
・本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使用すると誤動作や故障の原因となる場合があります。しばらく時間をおいて、結露がなくなってから使用してください。
・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

15 実行用ディスクの作り方

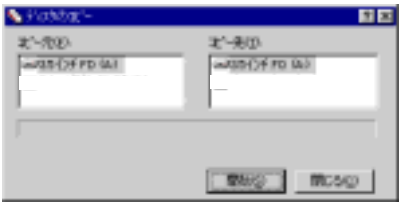
本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、フロッピィディスクドライブがAドライブの場合の例を示します。

1 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HD)を用意します。

2 サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。

3 **Windows95の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし『ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ』を選択します。

Windows95の例)



MS-DOS (PC DOS,Windows3.1) の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy a: a:・
```

(下線部入力)

4 サポートソフトウェアディスクと空きフロッピィディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

注 意

サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

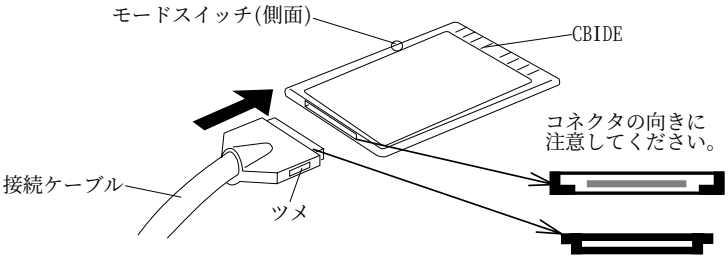
第2章 CBIDEとﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙシリーズの接続

CBIDEとCDPシリーズ、HDPシリーズ、またはMOP-230などの各ポータブルシリーズの取り付けに関する説明を行います。パソコン本体への接続及びインストール方法等は、【第3章 日本語Windows95で使用するには】または、【第4章 他のOSで使用するには】で説明します。

注 意

CBIDEカードのパソコンのPCカードスロットへの挿入は、【第3章】または【第4章】で行います。ここではまだPCカードスロットへの挿入は行わないでください。

1 CBIDEに添付の接続ケーブルを取り付けます。ラベルが貼ってある面を上にして「カチッ」と音がするまで押し込みます。



注 意

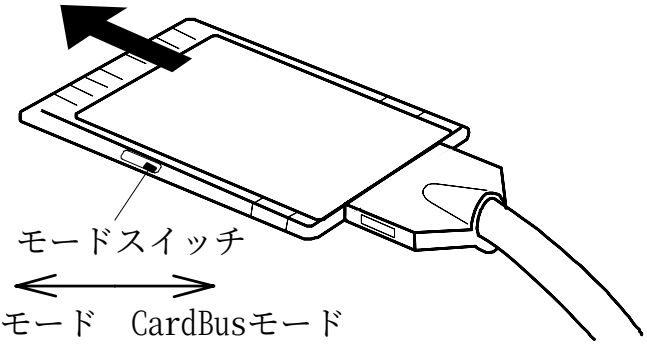
CBIDEから接続ケーブルを取り外す際は、接続ケーブルの両側のツメを押しながら水平に抜いてください。

2 ポータブルシリーズの電源がOFFになっていることを確認後、背面の接続コネクタに接続ケーブルを取り付けます。ACアダプタも背面のDC INに取り付けます。

3 ACアダプタをAC100V電源に接続します。

4 **CardBusスロットを装備していない機種やWindows3.1(MS-DOS,PC DOS)でご使用になる場合は、CBIDEカードのモードスイッチを「16bitモード」に切り替える必要があります。**

モードスイッチを切り替えるときは、先が細く硬いピンなどで切り替えてください。
Windows95でCBIDEを使用する場合に、ご使用のパソコンがCardBus対応機種かの確認方法は【3.1.1 インストールの前に】(P13)の・を参照してください。



《CardBusモード》

32ビットデータバスによる高速なデータ転送が可能です。CardBusスロットを装備した機種ではこのモードで使用することをお勧めします。
（ただし、Windows95ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ4.00.950 B（OSR2ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）以降がインストールされているものに限ります。）

《16bitモード》

CardBusスロットではないPCカードスロットを装備した機種ではこのモードで使用できます。CardBusスロットを装備した機種でも、16bitモードで動作可能です。

この後、Windows95でご使用になる場合
【3.1 Windows95へのインストール方法】(P13)
Windows3.1(MS-DOS,PC DOS)でご使用になる場合
【4.1 Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)へのインストール方法】(P30)
へお進みください。

第3章 日本語Windows95で使用するには

この章では、CBIDEをWindows95で使用する方法について説明します。

3.1 Windows95へのインストール方法

CBIDEをWindows95上で使用するには、CBIDEのWindows95用のドライバのインストールが必要です。


注 意

まず以下の［3.1.1 インストールの前に］を確認してください。確認後、ドライバのインストールを行います。
また、CBIDEのカードは、インストール後、パソコンのPCカードスロットへ挿入するので、ここではまだ挿入しないでください。

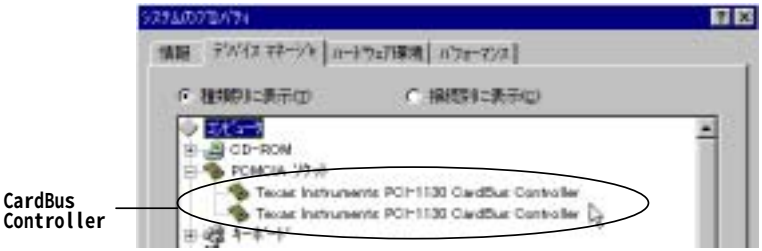
3.1.1 インストールの前に

- **使用するPCカードスロットのモードを確認**

  パソコンの機種によっては、PCカードスロットのモードを「CardBus」モードと従来の「PCIC互換」または「PCIC Compatible」モードに設定できる場合があります。
  この設定により、CBIDEカードのモードスイッチを切り替える必要があります。

《 PCカードドライバがCardBus対応であることの確認方法 》

ディスクトップ上の「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬｰ」タブをクリックします。「PCMCIA ｿｹｯﾄ」のドライバにCardBus対応のドライバ（CardBus Controller）が組み込まれていることを確認してください。



「CardBus Controller」には上記画面の「PCI-1130 CardBus Controller」以外に「Cirrus Logic CL-PD6832 CardBus Controller」等があります。

注 意

FMV-5133 Nu5/wはこの表示になっていても、ハード的にCardBus対応機種ではないので、CardBusモードでは使用できません。16bitモードでご使用ください。

• PCカードのドライバの確認

Windows95を起動し、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』-「ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ」を開き、PCカードのドライバが32ビットであることを確認してください。



ここを確認

参 考

32ビットになっていない場合は、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の『PCｶｰﾄﾞ』アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。（詳細は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。）

• PCカードスロットの電源供給の確認

PCカードスロットの電源供給のON/OFF設定ができる機種では、電源が供給されるような設定になっていることを確認してください。
多くの機種では、この設定はセットアップやパワーセーブ機能の中の項目にあります。
（パソコン本体の取扱説明書 参照）


注 意

PCカードスロットに電源が供給されない状態では、PCカードが全く使用できませんのでご注意ください。

• オートパワーダウン機能が動かないように設定する

ノートパソコンでは、設定された時間内に何も操作がなかった場合に、自動的にパソコン本体の電源を落とす機能（**オートパワーダウン機能**）を備えたものがあります。パソコンの機種によっては、この機能が働いた場合にPCカードスロットへの電源供給も止める場合があります。仮にCBIDEでハードディスクへの書き込み中にこのような状態になると、再びPCカードスロットに電源が供給されてもハードディスクへの書き込み処理が再開できない状態になり、最悪の場合はハードディスクの障害を引き起こします。
このような不具合を回避するためには、必ずオートパワーダウン機能が働かないようにパソコン本体を設定してください。
（パソコン本体の取扱説明書 参照）

• CBIDE16bitモードをPC-9821シリーズでご使用になる場合

「98NOTEメニュー」で『16Mバイトシステム空間』が「使用する」の設定になっていることを確認してください。
「切り離す」の場合は、正常に動作しませんので、変更してください。


参 照

「98NOTEメニュー」は、[HELP]キーを押しながらパソコン本体の電源ONまたはリセットをすると起動します。詳しくはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

- **CBIDE16bitモードで使用する場合のディスプレイアダプタの確認**

PC-9821シリーズでは、内蔵のウィンドウアクセラレータが正常に動作していることを確認してから、CBIDEカードドライバをインストールしてください。

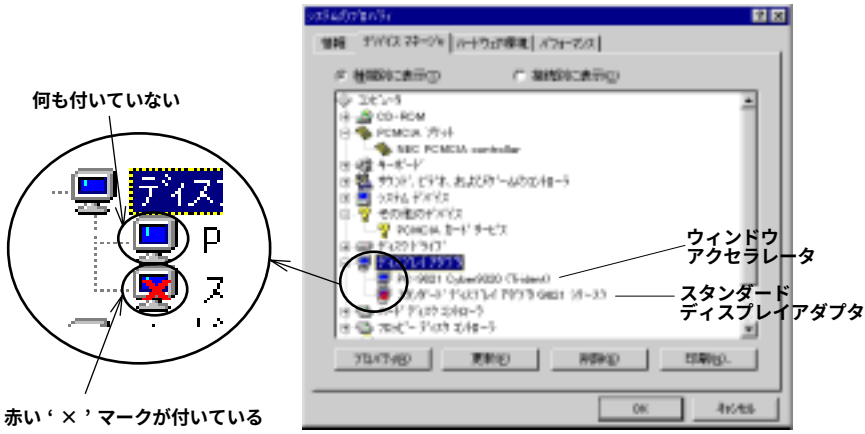
注 意

ウィンドウアクセラレータが正常に動作していないと、CBIDEが正常に動作しない場合があります。

＜確認方法＞

① Windows95を起動し、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』の「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」を開き、「ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ」アイコンをダブルクリックしてください。

② 「ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ」に‘×’マークが付いていること、さらに‘×’マークも‘！’マークも付いていないウィンドウアクセラレータ（機種により表示は異なります）が表示されていることを確認してください。



（正常な場合）

「ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ」に‘×’マークが付いていない場合、または、ウィンドウアクセラレータに‘×’マークまたは‘！’マークがついている（機種により表示は異なります）場合は、ディスプレイアダプタが正常に動作していません。ウィンドウアクセラレータのドライバを正しくインストールしてください。
（※インストール方法の詳細は、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。）
確認後、〔3.1.2 インストール〕を参照し、インストールを実行してください。

3.1.2 インストール

ここでは、〔3.1.1 インストールの前に〕(P13)を確認済みであることを前提に、Windows95パソコンへのCBIDEカードドライバをインストールする手順を説明します。

注 意

CBIDEカードのパソコンのカードスロットへの挿入は、ドライバインストール後に行います。(「3.1.3 CBIDEとパソコンの接続」参照)
ここでは、まだPCカードスロットへの挿入は行わないでください。

1 「CBIDEサポートソフト」をフロッピィディスクドライブに挿入します。

2 『スタート』→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』を起動して「名前」に以下のように入力します。
例) A:\win95\ddsetup.exe (ﾌﾛｯﾋﾟｨﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合)
入力後[OK]ボタンを押します。



3 『デバイスドライバセットアップ』画面が表示されます。
[インストール]が選択されていることを確認後、[OK]ボタンを押します。



4 インストールするドライバを選択します。使用している機種等により異なります。

CardBus対応機種の場合 .....[CBIDE32 (CardBusモード)]

CardBus未対応のPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

.....[CBIDE16 (16ﾋﾞｯﾄ高速ﾓｰﾄﾞfor DOS/V)]

CardBus未対応のPC-9821シリーズの場合

.....[CBIDE16 (16ﾋﾞｯﾄ高速ﾓｰﾄﾞfor PC9821)]

※[CBIDE16 (16ﾋﾞｯﾄ通常ﾓｰﾄﾞ)]については [付録1 困った時には] (P60) を参照してください。

選択後、[OK]ボタンをクリックします。インストールを開始します。



5 インストール終了の画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



以上でインストールは終了です。次ページへお進みください。

3.1.3 CBIDEとパソコンの接続

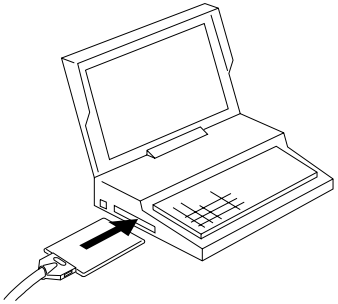
ここでは、CBIDEをパソコンのPCカードスロットに接続する手順について説明します。

1 CBIDEに接続されているポータブルシリーズのパワースイッチをONにしてください。

注 意

CBIDEカードを挿入する前に、インストールしたドライバの種類が「CBIDE32」ならばモードスイッチを**CardBusモード**に、「CBIDE16」ならばモードスイッチを**16ビットモード**に設定してください。（モードスイッチに関しては、【第2章】(P12)を参照してください。）

2 Windows95が起動していることを確認後、CBIDEをラベルが貼ってある面を上にして、パソコンのPCカードスロットへまっすぐ奥まで挿入してください。



【3.1.2】で対応するドライバが正常にインストールされていれば、CBIDEをパソコンに接続した時点で、パソコンが動作中であってもCBIDEは正常に認識され、CBIDEが使用できるようになります。

次に正常にインストールされたかどうかの確認を行ってください。
（次ページ【3.1.4 インストール終了後の確認】を参照してください。

注 意

PCカードの動作を終了しないで、CBIDEをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。CBIDEをPCカードスロットから取り外す際には、【3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P25)を参照してください。

3.1.4 インストール終了後の確認

ここではWindows95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。
正しく表示されていれば、CBIDEに接続したドライブが認識されます。（ただし、HDPシリーズはフォーマット後にドライブとして認識されます。）

《ドライバの確認方法》

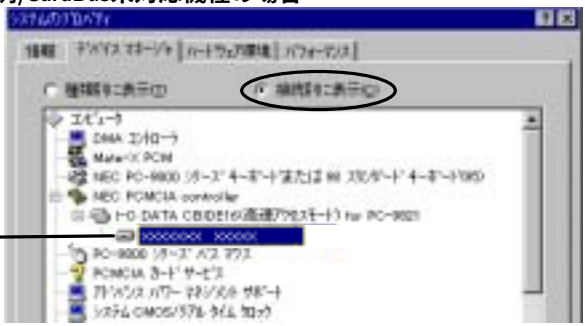
『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』-「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」でのCBIDE及びポータブルシリーズの表示について説明します。

（例1）CBIDE16bitモードでPC-9821シリーズを使用する場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』-「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「**接続別に表示**」を選択してください。
「NEC PCMCIA controller」※→「I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for PC-9821」を順にダブルクリックしてください。CBIDEのデバイスドライバの下位に接続しているポータブルシリーズのドライブの型名が表示されます。

※ 表示は機種により異なります。

(例)CardBus未対応機種の場合



CBIDE…CardBus未対応のPC-9821シリーズの場合
I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for PC-9821
CardBus未対応のDOS/Vマシン及びPC98-NXシリーズの場合
I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for DOS/V

(例2) CBIDE CardBusモードで使用する場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』-「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」で、「接続別に表示」を選択してください。CardBus対応のPC-9821シリーズの場合は「PCIﾊﾞｽ」→「CardBus Controller」→「I-O DATA CBIDE32 CardBus IDE Interface Card」を順にダブルクリックしてください。CBIDEのデバイスドライバの下位に接続しているポータブルシリーズのドライブの型名が表示されます。

※ 表示は機種により異なります。

(例)PC-9821Nr15の場合



CBIDE…CardBus対応機種の場合

I-O DATA CBIDE32 CardBus IDE Interface Card

CBIDEのデバイスドライバが正常に表示されない場合（！マークや ？マークが付いている場合も含む）は、まず【3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P25)を参照してCBIDEカードを抜き、次に【3.3 インストールされた情報を削除するには】(P28)を参照し、インストール情報を削除してください。その後、【3.1 Windows95へのインストール方法】(P13)を参照の上、インストールし直してください。

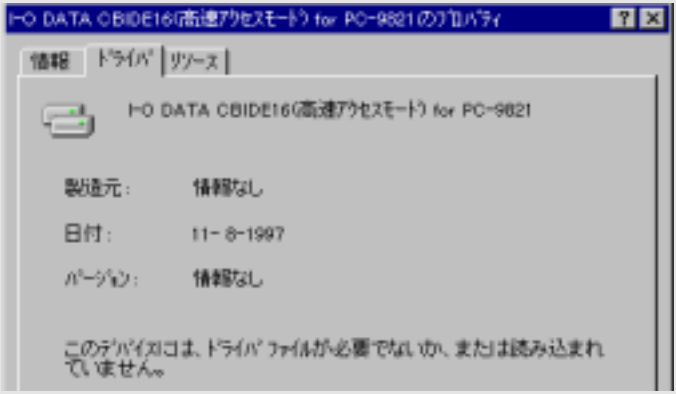
注 意

接続しているポータブルシリーズのドライブ名が表示されない場合は、ドライブの電源の入れ忘れや、ケーブル/コネクタの接触不良が考えられます。その他の原因及び対処方法については【付録1 困った時には】の「● Windows95でご使用の場合」(P60)を参照してください。

参 考

Windows95 バージョン4.00.950 B (OSR2バージョン) 以降をお使いの場合
(バージョンの確認については、次ページを参照してください)

1)CBIDEが正常に動作していても「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」で以下の画面表示となりますが、特に問題ありません。(例1(P21)の画面で「I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for PC-9821」を選択した状態で[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、[ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]タブを選択した時の画面)



2)CBIDEが正常に認識されると「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」の「その他のﾃﾞﾊﾞｲｽ」に「PCMCIA ｶｰﾄﾞｻｰﾋﾞｽ」が追加されます。これは正常動作している状態ですので、削除したりしないでください。



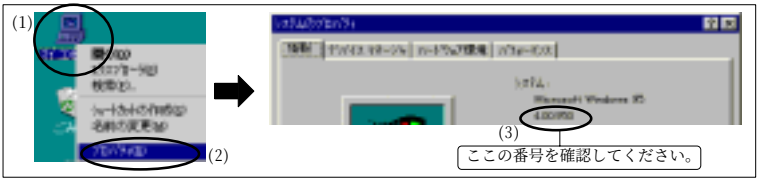
参考
つづき

3)CardBusモード使用時に、CBIDEが正常に動作していても「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」で以下の画面表示となりますが、特に問題はありません。
(例2(P22)の画面で「I-O DATA CBIDE32 CardBus IDE Interface Card」を選択した状態で[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、[ﾘｿｰｽ]タブを選択した時の画面)



＜Windows95のバージョンの確認＞

『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』にマウスカーソルを合わせてマウスの右ボタンをクリックし(1)、現れたメニューから『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』をクリックします(2)。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』に表示される番号がWindows95のバージョンです(3)。



3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項

PCカードの動作を終了しないで、CBIDEをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

CBIDEをPCカードスロットから取り外す際には、「・ CBIDEの取り外し方法－その1」(P26)または「・ CBIDEの取り外し方法－その2」(P27)の手順に従って行ってください。

「・ CBIDEの取り外し方法－その２」を参照



「・ CBIDEの取り外し方法－その１」を参照

• CBIDEの取り外し方法－その1

1 タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、

・CardBus対応マシンの場合は、

「I-O DATA CBIDE32 CardBus IDE Interface Cardの中止」

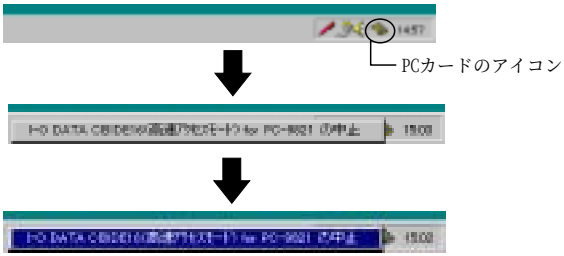
・CardBus未対応のPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は、

「I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for DOS/V の中止」

・CardBus未対応のPC-9821シリーズの場合は、

「I-O DATA CBIDE16 (高速ｱｸｾｽﾓｰﾄﾞ) for PC-9821の中止」

を選択後クリックします。



2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



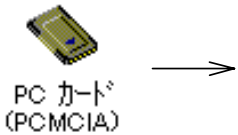
3 CBIDEをPCカードスロットから取り外し、ポータブルシリーズのパワースイッチをOFFにしてください。

注 意

この方法で取り外しを行うには、次ページ 1 の画面の「ﾀｽｸﾊﾞｰ上にｺﾝﾄﾛｰﾙを表示する」チェックボックスをチェックしてください。

• CBIDEの取り外し方法－その2

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の『PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)』アイコンをダブルクリックします。『PC ｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』ウィンドウが表示されます。
取り外すCBIDEを選択して、[終了]ボタンをクリックします。





2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



3 CBIDEをPCカードスロットから取り外し、ポータブルシリーズのパワースイッチをOFFにしてください。

注 意

これらの方法で取り外しができない場合は、以下の原因が考えられます。
①ドライブ(ポータブルシリーズ)を管理するツールが起動している。
②ポータブルシリーズ内のファイルなどにアクセスしている。
例)1.ポータブルシリーズ内のファイルを編集中。
2.ポータブルシリーズ内のAVIファイルを再生中。
など。

3.3 インストールされた情報を削除するには

ここでは、Windows95にインストールされたCBIDEドライバの情報を削除する（アンインストール）方法を説明します。

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』→『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ』にて正常に認識されない場合（［3.1.4 インストール終了後の確認］(P21)参照）や、動作がおかしい場合は、下記内容を実行してインストール情報を削除してください。

次に［3.1 Windows95へのインストール方法］(P13)を参照の上、もう1度インストールし直してください。

1 CBIDEをPCカードスロットから取り外します。
（［3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項］(P25)を参照）

2 「CBIDEｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入します。

3 『ｽﾀｰﾄ』-『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』を起動して、「名前」に以下のように入力します。
例）A:\win95\ddsetup.exe
（フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）
入力後、[OK]ボタンをクリックします。



4 『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｾｯﾄｱｯﾌﾟ』画面が表示されます。
[ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ]を選択後、[OK]ボタンをクリックします。



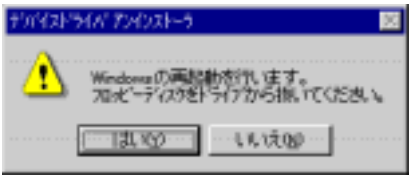
5 [ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ]開始の確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。



7 以下の画面が表示されます。「CBIDEｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィディスクドライブから抜き、[はい]ボタンをクリックしてください。



Windowsを再起動すると、アンインストールは終了です。

第4章 他のOSで使用するには

ここではWindows95以外のOS(Windows3.1,MS-DOS(PC DOS))で使用する際の設定について説明します。

4.1 Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)へのインストール方法

4.1.1 インストールの前に

• PCカードドライバのインストールの確認

CBIDE用ドライバをインストールする前に、PCカードドライバ（ソケットサービス/カードサービス）がインストールされていることが必要です。まずPCカードドライバがインストールされている事を確認してください。PCカードドライバがお分かりにならない場合は、［4.1.4 インストール終了後のCONFIG.SYSの例］(P34)を参照し、そちらに記載してあるソケットサービス／カードサービスのドライバがCONFIG.SYSにあるかどうかを確認してください。インストールされていない場合は、パソコン本体付属または別売のPCカードドライバのインストールを行ってください。

PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。

• モードスイッチの設定

Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)で使用する場合は、**CBIDE 16bitモードのみ**で使用できます。CBIDEカードの**モードスイッチを「16bitモード」に切り替える**必要があります。

（モードスイッチの切り替え方法は、［第2章 CBIDEとポータブルシリーズの接続］（P11）を参照してください）

4.1.2 インストール

MS-DOS(PC DOS)にドライバをインストールします。インストールが正しく終了すると（HDPシリーズの場合はフォーマット後に）Windows3.1やMS-DOS(PC DOS)上で使用できます。


注 意

1)CBIDEのインストーラはマルチコンフィグレーションに対応していません。マルチコンフィグレーションの場合、インストール先ディレクトリにCONFIG.SYSのサンプルが作成されますので、サンプルを参考にし、マルチコンフィグレーション環境のCONFIG.SYSに反映させてください。
2)インストーラは日本語モードでのみ動作します。英語モードで使用する場合は、日本語モードでインストールを行った後に、英語モードに切り替えて使用してください。

1 ハードディスクからMS-DOS(PC DOS)を起動します。
Windows3.1が起動する場合は、終了させてください。

2 フロッピィディスクドライブに「CBIDEサポートソフト」をセットし、カレントドライブを「CBIDEサポートソフト」のセットされたドライブにし、次のように入力します。

<フロッピィディスクドライブがAの場合の例>

```
C:\>A: ↵
A:\>DOS\INSTALL ↵
```

(下線部入力)

3 CBIDEインストールプログラムが起動します。作業を続行してよければ、・キーを押します。


注 意

「カードサービスが組み込まれていません。
カードサービスがインストールされていないと、ドライバを
インストールすることができません。.....」
というエラーが表示された場合は、PCカードドライバを組み込んでから、パソコンを再起動させ、INSTALL.EXEを実行してください。
PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。
（〔4.1.1 インストールの前に〕(P30)参照）

4 インストール先ディレクトリが表示されます。表示されているディレクトリでよければ、・キーを押します。

5 ファイルのコピーが開始されます。

6 起動ドライブを確認して・キーを押します。ドライバの環境設定をご使用の環境に設定してください。環境ファイル(config.sys)が変更されます。

パソコン再起動後、インストール終了です。
再起動後、HDPシリーズを使用する場合は〔5.2 HDPシリーズを使用する場合〕(P43)、MOP-230を使用する場合は〔5.3 MOP-230を使用する場合〕(P56)を参照し、必要に応じてフォーマットを行ってください。


注 意

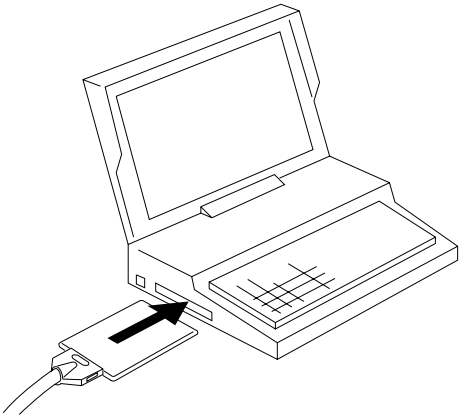
パソコン起動前に、ポータブルシリーズが正しく接続されたCBIDEを挿入し、ポータブルシリーズのパワースイッチもON（MOP-230の場合はONまたはAUTO）に設定しておく必要があります。

4.1.3 CBIDEとパソコンの接続

ここでは、CBIDEとパソコンのPCカードスロットに接続する手順について説明します。

1 CBIDEに接続されているポータブルシリーズのパワースイッチをONにしてください。

2 CBIDEをラベルが貼ってある面を上にして、パソコンのPCカードスロットへまっすぐに挿入してください。



3 ポータブルシリーズのパワースイッチがONになっていることを確認後、パソコンを起動してください。

ドライバが正常にインストールされていれば、CBIDEは正常に認識され、CBIDEが使用できるようになります。

4.1.4 インストール終了後のCONFIG.SYSの例

ここでは、各機種ごとでのPCカードドライバ(ソケットサービス／カードサービス)及び各ポータブルシリーズの CONFIG.SYSへの組み込み例を示しています。必要に応じてご覧ください。

例 CDPシリーズの場合

■PC-9821シリーズ

・CONFIG.SYSの例

```
DEVICE=A:\DOS\EMM386.EXE /E=DC00-DFFF（ メモリマネージャ ）
                        （弊社 VMM386.EXE の場合
                        A:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=DC-DF）
DEVICE=A:\DOS\SSDRV.SYS                （ ソケットサービス ）
DEVICE=A:\DOS\CS.EXE          （ カードサービス ）
DEVICE=A:\DOS\CSALLOC.EXE A:\DOS\CSALLOC.INI
DEVICE=A:\DOS\CARDID.EXE A:\DOS\CARDID.INI
DEVICE=A:\CBIDE\IDE16_98.SYS   （ CBIDE用ドライバ ）
DEVICE=A:\CBIDE\CD16_98.SYS /D:CD16_001
                                        （ CDPシリーズ用ドライバ ）
LASTDRIVE = Z
```

・AUTOEXEC.BATの例

```
A:\DOS\MSCDEX.EXE /D:CD16_001
```


注 意

HDPシリーズ、またはMOP-230を使用する場合は、四角で囲まれた部分を以下のように変更してください。

DEVICE=A:\CBIDE\DD16_98.EXE

■DOS/Vマシン

● Phoenix社の場合(olibetti ECHOS24C)

・CONFIG.SYSの例

```
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE X=C800-C8FF X=C900-CCFF
                                        ( メモリマネージャ )
                        ( 弊社 VMM386.EXE の場合
                          C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=C8-CC )
DEVICE=C:\PCMPLUS\CNFIGNAM.EXE /DEFAULT
DEVICE=C:\PCMPLUS\PCMSS.EXE ( ソケットサービス )
DEVICE=C:\PCMPLUS\PCMCS.EXE ( カードサービス )
DEVICE=C:\PCMPLUS\PCMSCD.EXE
DEVICE=C:\CBIDE\IDE16_DV.SYS ( CBIDE用ドライバ )
DEVICE=C:\CBIDE\CD16_DV.SYS /D:CD16_001
                                        ( CDPシリーズ用ドライバ )
LASTDRIVE = Z
```

・AUTOEXEC.BATの例

```
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:CD16_001
```

● SystemSoft社の場合(COMPAQ CONTURA 400等)

・CONFIG.SYSの例

```
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE X=D000-DFFF (メモリマネージャ)
                        ( 弊社 VMM386.EXE の場合
                          C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=D0-DF )
DEVICE=C:\CARDSOFT\SSVLSI.EXE ( ソケットサービス )
DEVICE=C:\CARDSOFT\PCMSMIX.EXE
DEVICE=C:\CARDSOFT\CS.EXE ( カードサービス )
DEVICE=C:\CARDSOFT\CSALLOC.EXE
DEVICE=C:\CARDSOFT\CARDID.EXE C:\CARDSOFT\CARDID.INI
DEVICE=C:\CBIDE\IDE16_DV.SYS ( CBIDE用ドライバ )
DEVICE=C:\CBIDE\CD16_DV.SYS /D:CD16_001
                                        ( CDPシリーズ用ドライバ )
LASTDRIVE = Z
```

・AUTOEXEC.BATの例

```
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:CD16_001
```

● **IBM社の場合(ThinkPad 230Cs等)**

・CONFIG.SYSの例

```
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE X=C800-CFFF  ( メモリマネージャ )
                    ( 弊社 VMM386.EXE の場合
                      C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=C8-CF )
DEVICE=C:\EZGOING\IBMDSS01.SYS /M     ( ソケットサービス )
DEVICE=C:\EZGOING\IBMDOSCS.SYS        ( カードサービス )
DEVICE=C:\EZGOING\DICRMU01.SYS /MA=C800-CFFF
DEVICE=C:\EZGOING\AUTODRV.SYS C:\EZGOING\AUTODRV.INI
DEVICE=C:\CBIDE\IDE16_DV.SYS  ( CBIDE用ドライバ )
DEVICE=C:\CBIDE\CD16_DV.SYS /D:CD16_001
                                      ( CDPシリーズ用ドライバ )
LASTDRIVE = Z
```

・AUTOEXEC.BATの例

```
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:CD16_001
```



注 意

HDPシリーズ、またはMOP-230を使用する場合は、四角で囲まれた部分を以下のように変更してください。

```
DEVICE=C:\CBIDE\DD16_DV.EXE
```



参 考

占有メモリについて

本製品はカード属性情報(タプル)を512バイト持っています。この情報を読み出すために使用するアドレス空間はUMBやEMSとして設定されないようにする必要があります。そのため、CONFIG.SYSファイルの EMM386.EXE等のメモリマネージャの行にオプションを指定します。

4.2 ドライバの詳細

ここでは、MS-DOS（PC DOS,Windows3.1）で使用するCBIDE関連のドライバについての詳細を説明します。必要に応じてご覧ください。

IDE16_98(DV).SYS

CBIDE用カードサービスクライアントドライバです。CBIDEカードを初期化してI/Oポートを割り当てます。

〈書式〉・DOS/Vマシンの場合

DEVICE=C:\CBIDE\IDE16_DV.SYS [オプション]

・PC-9821シリーズの場合

DEVICE=A:\CBIDE\IDE16_98.SYS [オプション]

〈オプション〉

/V	詳細情報を表示します。
/IO=	I/Oポートアドレスを指定します。通常は自動的にI/Oアドレスが決定されるため、設定する必要はありません。I/Oアドレスの競合が起こった場合に、任意のアドレスに変更します。 ◎IDE16_98.SYSの場合 xxD0 or xxE0と指定します。※(xxは任意の値) <使用例> DEVICE=A:\CBIDE\IDE16_98.SYS /IO=01D0 (この場合 I/Oアドレスが1D0-1D7,1D8-1D9に割り当てられます。) ※ハードウェア仕様と異なりますが、正しく指定できます。 ◎IDE16_DV.SYSの場合 180,190,1A0のいずれかを指定します。 <使用例> DEVICE=C:\CBIDE\IDE16_DV.SYS /IO=180 (この場合 I/Oアドレスが 180-187,386-387に割り当てられます。)
/MEM=	CBIDEカードはデータ転送時にメモリ空間を使用します。 (デフォルトでは 8Kバイトのメモリ空間を使用します。) 使用する環境によってはメモリ空間の空きがなくカードが初期化されない場合がありますが、その場合 /MEMオプションにてメモリウィンドウの長さを指定します。(但し、メモリ空間のサイズが小さくなると、データ転送速度が低下します。) 設定値は 0 or 4 or 8です。 それぞれ 0Kバイト,4Kバイト,8Kバイトのメモリウィンドウを開きます。

DD16_98(DV).EXE

ハードディスクドライブまたはMOドライブのドライブ名を割り当て、DOSでアクセス可能とする為のデバイスドライバです。

<書式>・DOS/Vマシンの場合

DEVICE=C:\CBIDE\DD16_DV.EXE

・PC-9821シリーズの場合

DEVICE=A:\CBIDE\DD16_98.EXE

CD16_98(DV).SYS

CBIDE接続のCD-ROM用ドライバです。

<書式>・DOS/Vマシンの場合

DEVICE=C:\CBIDE\CD16_DV.SYS [オプション]

・PC-9821シリーズの場合

DEVICE=A:\CBIDE\CD16_98.SYS [オプション]

<オプション>

/D	xxxxxxxxCDのデバイス名を指定します。指定のないときはCD16_001となります。

MSCDEX.EXE

CD-ROMドライブにドライブを割り当てるプログラムです。このプログラム自体は、MS-DOS Ver6.2以降(PC DOS J6.3/V以降)に添付されているもので、CBIDEサポートソフトに含まれていません。CBIDEサポートソフトのインストール時に自動的にMSCDEX.EXEの存在するディレクトリを検索し、AUTOEXEC.BATに追加されます。

SMARTDRV.EXE

SMARTDRV.EXEにより、CD-ROMドライブがキャッシュされている場合には、
Photo CDやVideo CDなどのCD-ROM XAフォーマットのメディアが正常に読めません。
CD-ROMドライブへのキャッシュを下記の方法で無効にしてご使用ください。

例：CD-ROMドライブが E: の場合

SMARTDRV E-

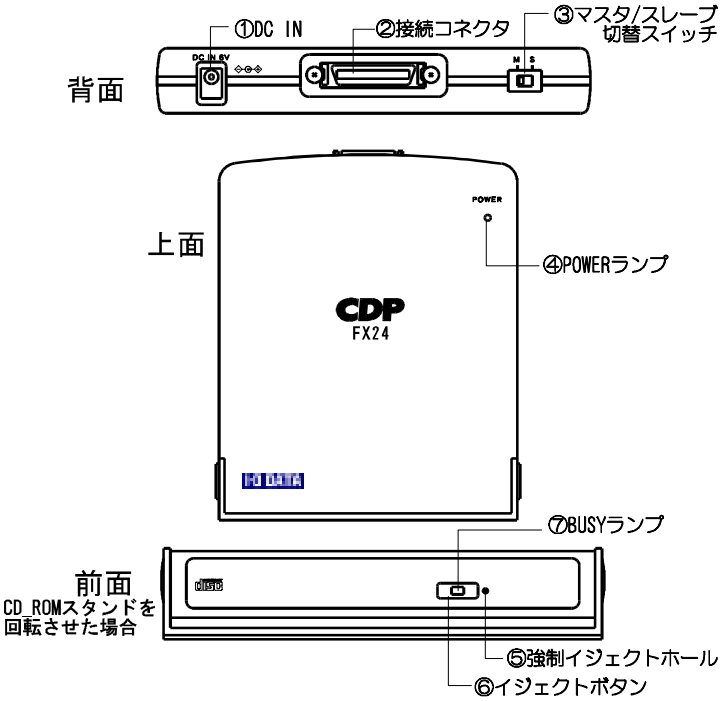
第5章 各ポータブルシリーズで使用するには

本章では、各ポータブルシリーズ（CDPシリーズ、HDPシリーズ、MOP-230）の使用方法について説明します。

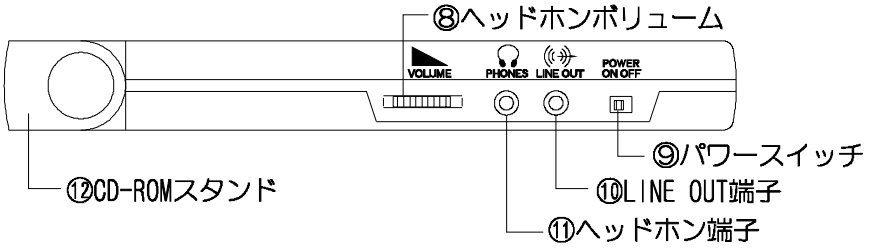
5.1 CDPシリーズを使用する場合

ここでは、CDPシリーズを使用する場合の説明をします。

5.1.1 各部の名称・機能



側面（上面から見て右側）



名称	説明
①DC IN	添付のACアダプタを接続してAC100Vの家庭用コンセントに接続します。
②接続コネクタ	接続ケーブルでCBIDEと接続します。
③マスタ(M)/スレーブ(S)切替スイッチ	通常はマスタ(M)の位置に設定します。(出荷時設定:M) ※スレーブ(S)に設定すると正常に動作しません。
④POWERランプ	CDPシリーズのパワースイッチON時は緑色に点灯します。OFF時は消灯します。アクセスの確認についてはBUSYランプをご確認ください。
⑤強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこなくなった時に使用します。（[付録1 困った時には] (P69)参照）
⑥イジェクトボタン	CDトレイを出します。
⑦BUSYランプ	アクセス時に点滅します。
⑧ヘッドホンボリューム	ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。左に回すと音量が上がります。
⑨パワースイッチ	CDPシリーズの電源をON/OFFします。
⑩LINE OUT端子	ステレオアンプなどのオーディオ機器を接続します。
⑪ヘッドホン端子	ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを接続します。
⑫CD-ROMスタンド	CDPシリーズの底面側･上側に90°回転します。底面側に倒すとCDPシリーズ前面を上げて使用することができます。

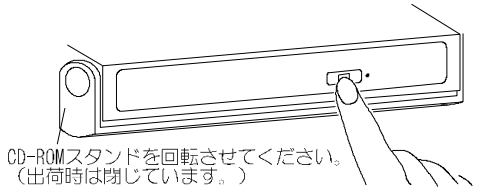
5.1.2 CDの出し入れ

注 意

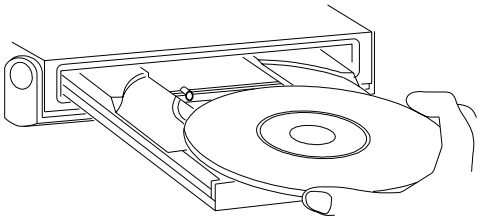
CDの出し入れを行う場合は、CDPシリーズの電源をONにしてください。

1 **イジェクトボタンを押すと、CDトレイが20mm程出てきますので、ゆっくりとCDトレイを引き出します。**

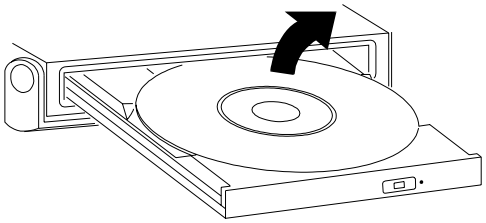
※無理に引き出すとCD-ROMドライブを損傷させるおそれがあります。
CDトレイの引き出しは慎重に行ってください。



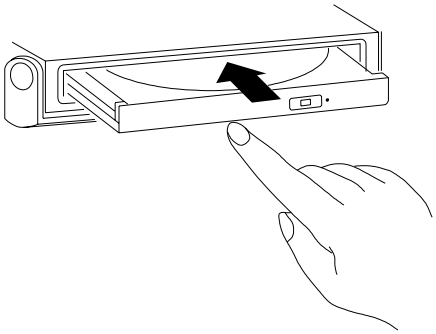
2 **CDを入れる･･･文字などが印刷されているディスク面を上にしてCDをセットします。このとき、CDトレイの中心にある軸にしっかりとCDをはめ込んでください。**



CDを出す……CDの回転が完全に止まっていることを確認してからCDを取り出します。



3 **イジェクトボタンに触れないようにCDトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでCDトレイを指で押し込みます。CDトレイから手を離してもCDトレイが出てこないことを確認してください。**

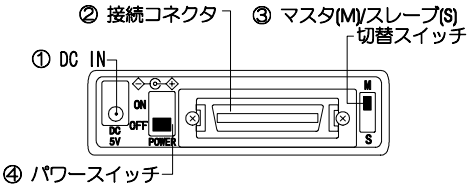


5.2 HDPシリーズを使用する場合

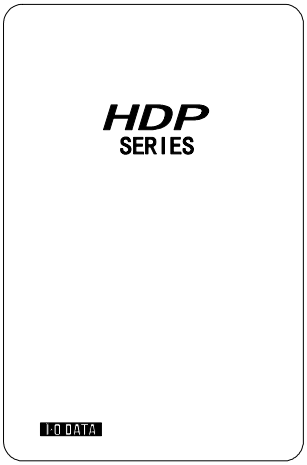
ここでは、HDPシリーズを使用する場合の説明をします。

5.2.1 各部の名称・機能

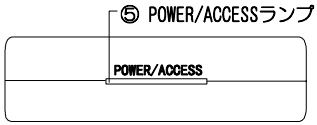
背面



上面



前面

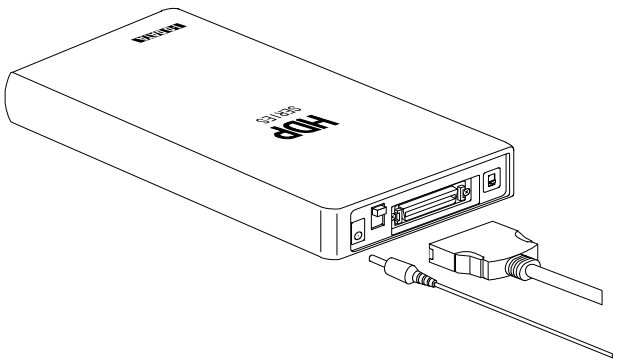


名称	説明
①DC IN	添付のACアダプタを接続してAC100Vの家庭用コンセントに接続します。
②接続コネクタ	接続ケーブルでPCIDE II と接続します。
③マスタ(M)/スレーブ(S)切替スイッチ	通常はマスタ(M)の位置で使用します。設定が異なる場合はペン先などで変更してください。(出荷時設定:M) ※スレーブ(S)に設定すると正常に動作しません。
④パワースイッチ(ON/OFF)	ON/OFF:パソコンの電源の状態にかかわらずHDP/PCIDEシリーズの電源をON/OFFします。
⑤POWER/ACCESSランプ	[ON]設定時 :緑色に点灯します。 (アクセス時には、オレンジ色に点滅します。) [OFF]設定時 :消灯します。

5.2.2 取り付け方法

CBIDEとHDPシリーズの取り付け方法を説明します。

1 HDPシリーズのパワースイッチがOFFになっていることを確認してから、本製品に添付の接続ケーブルをHDPシリーズの背面の接続コネクタに取り付けます。
ACアダプタも背面のDC INに取り付けます。



5.2.3 HDPシリーズのフォーマット方法

• Windows95でのフォーマット方法

ここでは、Windows95上でHDPシリーズをフォーマットする方法について説明します。


注 意

HDPシリーズのフォーマットは、CBIDEカードのドライバをインストールした後で行ってください。

■ 未フォーマットのHDPシリーズの場合

CBIDEに接続している場合

HDPシリーズに添付のフォーマッタ ASPIFORM.EXE を使ってフォーマットを行います。【● ASPI対応 フォーマッタ】（次ページ参照）


注 意


参 考

1)ASPIFORM.EXE でフォーマットされたドライブは、FDISK互換形式（DOS/V互換形式）となります。
2)CBIDEのWindows95用ドライバは、ソフトウェア的にIDE⇔SCSIの変換を行っています。そのため、ASPI対応ユーティリティが使用可能となっています。
3)内蔵CD-ROMがメニューに表示される場合がありますが、これはWindows95の仕様によるもので問題はありません。
4)**PCIDEまたはPCIDE IIをご使用で、あらたにCBIDEをご使用になる方へ**
フォーマットを行う際は、必ずCBIDE添付のフォーマッタASPIFORM.EXEをご使用ください。HDP/PCIDEシリーズに添付のASPIFORM.EXEは絶対に使用しないでください。CBIDEデバイスドライバをインストール後はPCIDEまたはPCIDE II使用時でもCBIDE添付のASPIFORM.EXEをご使用ください。

●ASPI対応フォーマッタ（ASPIFORM.EXE）

注 意

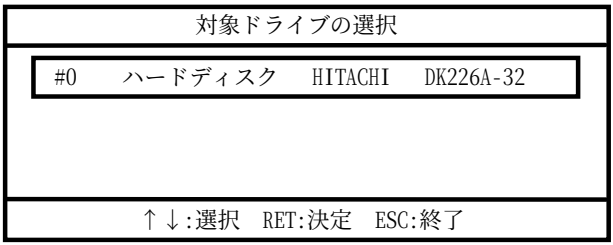
1)ASPIFORM.EXE では、作成可能な領域数（区画数）は5までです。
2)Windows95上でASPIFORM.EXEを実行する場合は必ずDOSプロンプト上（『ｽﾀｰﾄ』-『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』-『MS-DOSﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ』を選択して起動）で行ってください。
Windows95のMS-DOSモードで再起動した状態でASPIFORM.EXEを実行するとフォーマットの対象ドライブが表示されませんのでご注意ください。

ASPIFORM.EXE は、各メディアのフォーマット形式の確認やハードディスクのフォーマット等を行うためのソフトウェアです。

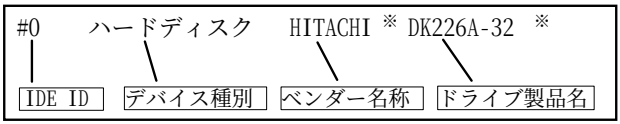
1 MS-DOSのプロンプト状態から、次のように入力します。
「CBIDEサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、そのドライブから ASPIFORM.EXE を実行します。
次の例は、フロッピィディスクドライブが C: ドライブの例です。

C:\WIN95>ASPIFORM.EXE・ （下線入力）

2 はじめに、対象とするドライブの選択を行います。
（画面例：HDP-3.2Gの場合）



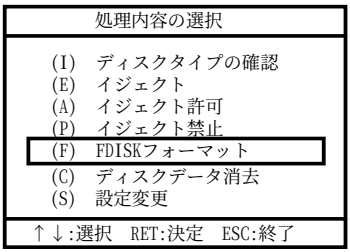
「対象ドライブの選択」表示とその意味



※ ご使用のHDPシリーズの容量によって、表示内容が異なります。

3 『処理内容の選択』画面が表示されます。

HDPシリーズのフォーマットを行うには、「(F) FDISKフォーマット」を選択します。



参考

(I) ディスクタイプの確認
ドライブ内のディスクが、どのフォーマット形式に従ってフォーマットされているかを判別します。

(E) イジェクト
ドライブ内のディスクをイジェクトします。
[リムーバブルメディア、MOのみ(**HDPシリーズでは使用できません**)]

(A) イジェクト許可
無効化されたイジェクトボタンを有効にします。
イジェクトボタンによるイジェクトが可能になります。
[リムーバブルメディア、MOのみ(**HDPシリーズでは使用できません**)]

(P) イジェクト禁止
イジェクトボタンを無効化します。
イジェクトが許可されるまで、イジェクトボタンは効かなくなります。
[リムーバブルメディア、MOのみ(**HDPシリーズでは使用できません**)]

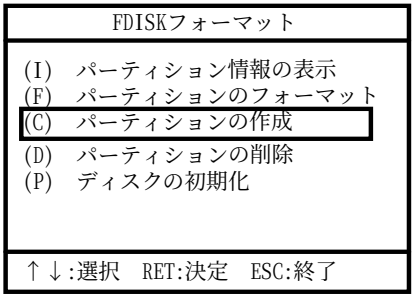
(F) FDISKフォーマット
ドライブ内のディスクをフォーマットします。フォーマットを行うとディスク上のデータはすべて消去されます。

(C) ディスクデータ消去
ディスクのデータを消去します。
･簡易データ消去[データ管理情報部分のみを消去]
･完全データ消去[ディスク上のすべての情報を消去]
HDPシリーズを完全に初期化するには、完全データ消去を行ってください。

(S) 設定変更
ライトキャッシュの設定を行います。初期設定はOFFです。
[弊社製RM-MOシリーズ、MOFシリーズのみ(**HDPシリーズでは使用できません**)]

4 『FDISKフォーマット』画面が表示されます。

「(C) パーティションの作成」を選択し、パーティションの作成を行ってください。
パーティションの作成を行うことによって、ディスクのフォーマットも終了します。



参考

(I) パーティション情報の表示
単純にパーティションの状態を表示します。

(F) パーティションのフォーマット
パーティションを選択後、論理フォーマットを行います。

(C) パーティションの作成
新規パーティションを作成します。ただし作成可能なパーティション数は、5までです。作成領域の入力は、Mバイト単位ですが、領域の確保する単位はシリンダ単位になります。また、HDPシリーズの1パーティションの最低サイズは39Mバイトです。

(D) パーティションの削除
末尾のパーティションを削除します。

(P) ディスクの初期化
物理フォーマットを行います。(**HDPシリーズでは使用できません**)
※HDPシリーズの初期化は、3での「(C) ディスクデータ消去」-「完全データ消去」で行います。

注 意

1)パーティションは1つ以上（最大5つまで）必ず作成してください。
作成しないと「ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」にドライブアイコンが表示されません。
2)**HDP-4.1GまたはHDP-3.2Gをお使いの場合**
ASPIFORM.EXEは、1パーティションの最大容量が2,047Mバイトのため全容量を1つの領域だけで確保することはできません。2つ以上のパーティションを作成してください。

5 [ESC]キーを押すと、画面が一つ前の状態になります。
『対象ドライブの選択』画面まで戻り、[ESC]キーをさらに押すと
ASPIFORM.EXE を終了します。

終了後、再起動してください。

以上で、フォーマットは終了です。

■一度フォーマットしたHDPシリーズを再フォーマットする場合

1 「ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンをダブルクリックして開き、表示されたドライブアイコンの中から、HDPシリーズを選択します。

2 HDPシリーズのドライブアイコンを右クリックして、ショートカットメニューから「ﾌｫｰﾏｯﾄ」を選択します。(また、[ﾌｧｲﾙ]メニューの［ﾌｫｰﾏｯﾄ］の選択でもフォーマットが可能です。)



以上で、フォーマットは終了です。

・ MS-DOS (Windows3.1,PC DOS) 上でのフォーマット方法

ここでは、MS-DOS (Windows3.1,PC DOS) 上でHDPシリーズのフォーマット方法について説明します。

CBIDEに接続している場合


注 意

PCIDEまたはPCIDE IIをご使用で、あらたにCBIDEをご使用になる方へ
HDPシリーズでフォーマットを行う際は、必ずCBIDE添付のフォーマッタIDEFMT.EXEをご使用ください。HDP/PCIDEシリーズに添付のIDEFMT.EXEは絶対に使用しないでください。CBIDEデバイスドライバをインストール後はPCIDEまたはPCIDE II使用時でもCBIDE添付のIDEFMT.EXEをご使用ください。過去にお使いのIDEFMT.EXEはハードディスクから削除してください。

・PC-9821シリーズをご使用の場合

IDEFMT.EXEでのフォーマットと、FORMAT.EXEでのフォーマットの2種類の方法でフォーマットできます。

・DOS/Vマシンをご使用の場合

IDEFMT.EXEでのフォーマットのみ行えます。(日本語モードで作業してください。)

ﾌｫｰﾏｯﾄ方法	使用環境	特徴	参考箇所
IDEFMT.EXEでのﾌｫｰﾏｯﾄ	PC-9821ｼﾘｰｽﾞ DOS/Vﾏｼﾝ	・DOS/Vﾏｼﾝと共有可能 ・IDE-98に接続した時にBOOTが不可能	以下
FORMAT.EXEでのﾌｫｰﾏｯﾄ	PC-9821ｼﾘｰｽﾞのみ	・DOS/Vﾏｼﾝと共有不可能(IDEFMT.EXEで再ﾌｫｰﾏｯﾄが必要) ・IDE-98に接続した時にBOOTが可能	53ﾍﾟｰｼﾞ

《 IDEFMT.EXEでのフォーマット 》

1 ハードディスクからMS-DOS(PC DOS)を起動します。
Windows3.1が起動している場合は、終了させてください。

2 次のように入力します。
(「CBIDEサポートソフト」のインストール先のドライブがCの場合)

C:\>CBIDE\IDEFMT・ (下線部入力)

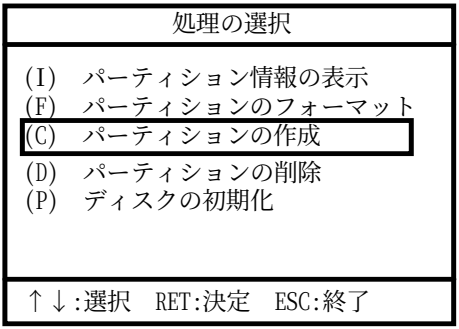
3 **「対象ドライブの選択」画面が表示されます。**

HDPシリーズを選択して、・キーを押してください。

4 **『処理の選択』画面が表示されます。**

「(C) パーティションの作成」を選択し、パーティションの作成を行ってください。

パーティションの作成を行うことによって、ディスクのフォーマットも終了します。



参考

(I) パーティション情報の表示

単純にパーティションの状態を表示します。

(F) パーティションのフォーマット

パーティションを選択後、論理フォーマットを行います。

(C) パーティションの作成

新規パーティションを作成します。ただし作成可能なパーティション数は、5までです。作成領域の入力は、Mバイト単位ですが、領域の確保する単位はシリンダ単位になります。また、HDPシリーズの1パーティションの最低サイズは39Mバイトです。

(D) パーティションの削除

末尾のパーティションを削除します。

(P) ディスク初期化

ディスク上のすべてのデータを消去します。


注 意

1)パーティションは1つ以上（最大5つまで）必ず作成してください。
作成しないとドライブが認識されません。
2)**HDP-4.1GまたはHDP-3.2Gをお使いの場合**
IDEFMT.EXEは、1パーティションの最大容量が2,047Mバイトのため全容量を1つの領域だけで確保することはできません。2つ以上のパーティションを作成してください。

5 [ESC]キーを押すと、画面が一つ前の状態になります。
『対象ドライブの選択』画面まで戻り、[ESC]キーをさらに押すと
IDEFMT.EXE を終了します。
終了後、再起動してください。

以上で、フォーマットは終了です。


参 考

フォーマットを行ったハードディスクに対してScandiskを実行すると、使用する環境によって以下のようなエラーが表示される場合があります。

<エラーメッセージ>
「ﾄﾞﾗｲﾌﾞ X:に一部のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑが正常に動作しなくなる原因となる問題が見つかりました。」
この場合は、Scandiskにより修復を行うか、無視してください。
（修復を行わなくても、実用上での問題はありません。）修復を行った場合以下のようなﾒｯｾｰｼﾞが表示されます。

<修復結果>
ﾄﾞﾗｲﾌﾞ X:に以下の問題が見つかり、修正されました：
FATﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟが置き換えられました。
1個のFATのｺﾋﾟｰがﾘﾌﾚｯｼｭされました。

《 FORMAT.EXEでのフォーマット 》

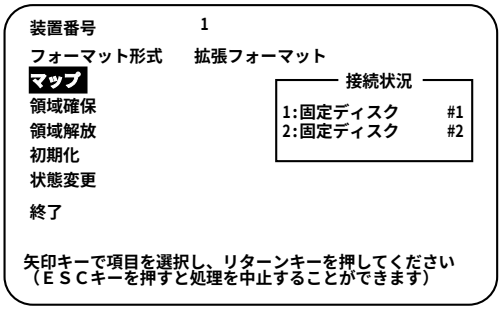
1 formatコマンドを実行します。

(MS-DOSのインストール先のドライブがAの場合)

A:\>format /h・（下線部入力）

2 メニュー画面が表示されます。

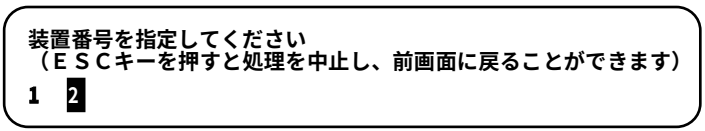
（画面例：「2:固定ディスク」がHDPシリーズです。）



3 接続状況を見て、初期化作業を行いたい固定ディスクの装置を探し、装置番号を調べます。HDPシリーズは最後の装置番号の固定ディスクです。

4 メニューから、[↑][↓]キーで[装置番号]を選び、・キーを押します。

5 以下の画面が表示されます。[←][→]キーで、**3**で調べた装置番号を選び、・キーを押します。




特に注意

間違った装置番号を選ぶと、その装置のデータ内容が全て消えてしまいます。

メニュー画面に戻ります。

装置番号が変わっていることを必ず確認してください。

6 **メニューから、[↑][↓]キーで[マップ]を選び、・キーを押します。**
未フォーマットのハードディスクドライブの場合、画面に「システム管理域が不正です」と表示されます。（上記のように表示されない場合は装置番号が違っています。何かキーを押し、3に戻ってやり直してください。）表示を確認後、何かキーを押すと、メニューに戻ります。

7 **メニューから、[↑][↓]キーで[初期化]を選び、・キーを押します。**
画面下部に次のように表示されます。

```
装置全体を初期化します．よろしいですか
（ＥＳＣキーを押すと処理を中止し、前画面に戻ることができます）
はい いいえ
```

8 **[はい]を選び、装置番号を再度確認して、・キーを押します。**
「装置を初期化中です」のメッセージが表示され、初期化が始まります。
20分～60分前後かかります。
「装置の初期化を終了しました」と表示されたら、何かキーを押します。
メニュー画面に戻ります。

9 **メニューから、[↑][↓]キーで[領域確保]を選び、・キーを押します。**
次のような画面になります。

```
装置番号              2
フォーマット形式      拡張フォーマット
確保容量              0xxxxＭＢ
先頭シリンダ          00001
システム              転送する
ボリュームラベル
実行

確保する容量は何メガバイトですか．HELPキーを押すとマップを表示します。
確保可能な容量は1～0xxxxＭＢです．
（ＥＳＣキーを押すと処理を中止し、前画面に戻ることができます）
確保容量=
```

10 **画面の指示にしたがって、入力します。**

1. **確保容量：必要な容量を入力して、・キーを押します。**
2. **シリンダ番号：そのまま・キーを押します。（先頭より確保）**
3. **システム転送：[転送しない]を選び、・キーを押します。**
4. **ボリュームラベル：そのまま・キーを押します。**

11 **以下の画面が表示されます。**

```
領域の確保を行います．準備はよろしいですか
（はい：確保する　いいえ：確保しない）
（ＥＳＣキーを押すと処理を中止し、前画面に戻ることができます）
はい  いいえ
```

[はい]を選び、装置番号を再度確認して、・キーを押します。
領域確保が開始され、進行状況が%表示されます。
領域確保が終了したら、メニュー画面になります。
9の操作に戻り、残りの容量の領域確保を行ってください。

12 **メニューより[終了]を選ぶとDOSプロンプト状態になるので、パソコンを再起動します。**



注 意

再起動後、他の機器のドライブ名が変更になる場合がありますので、各装置のドライブ名を再度ご確認ください。

5.3 MOP-230を使用する場合

MOP-230の各部の名称などについては、お手持ちのMOP-230取扱説明書を参照してください。

• Windows95でのMOディスクのフォーマット方法

ここでは、Windows95上でMOディスクをフォーマットする方法について説明します。
(MOP-230が扱えるMOディスクのフォーマット形式は、スーパーフロッピィフォーマットのみです。)

注 意

スーパーフロッピィフォーマット以外でフォーマットされたMOディスクは読み取れません。スーパーフロッピィフォーマットにてフォーマットし直す必要があります。

フォーマット手順

1 『マイコンピュータ』の [リムーバブルディスク] にマウスカーソルを合わせクリック、マウスの右ボタンをクリックし、[フォーマット] を選択してください。



2 以下の画面が表示されますので、下記内容をご確認の上、必要事項を選択し、[ｽﾀｰﾄ]ボタンをクリックしてください。

「容量」

PC-9821シリーズのみ、MOディスクの容量の選択をしてください。
(DOS/Vマシンの場合は、挿入したMOディスクの容量が表示されます。)

「フォーマットの種類」

・通常のフォーマット　：未フォーマットのMOディスク、又はハードディスクフォーマットされたMOディスクの場合

・クイックフォーマット：すでにスーパーフロッピィフォーマットにてフォーマット済みのメディアの場合



(PC-9821シリーズの場合)

注 意

パソコン本体によっては、「16ビット高速モード」で正常に動作しない場合があります。フォーマットができない場合は、一度アンインストールし(「3.3 インストールされた情報を削除するには」を参照)、「16ビット通常モード」でインストールし直してください。
MOメディアをフォーマットするには、「●ASPI対応フォーマッタ (ASPIFORM.EXE)」(P46)を参照し、一度 3 で「(C) ディスクデータ消去」を行ってから、ASPIFORM.EXEでフォーマットをお試しください。

・ MS-DOS (Windows3.1,PC DOS) 上でのMOディスクのフォーマット方法

ここでは、MS-DOS (Windows3.1,PC DOS) 上でフォーマットする方法について説明します。(MOP-230が扱えるMOディスクのフォーマット形式は、スーパーフロッピィフォーマットのみです。)



注 意

1)スーパーフロッピィフォーマット以外でフォーマットされたMOディスクは読み取れません。スーパーフロッピィフォーマットにてフォーマットし直す必要があります。
2)フォーマット中は、カード及びMOディスクの抜き挿しは行わないでください。
3)**PCIDEまたはPCIDE IIをご使用で、あらたにCBIDEをご使用になる方へ**
フォーマットを行う際は、必ずCBIDE添付のフォーマッタIDEFMT.EXEをご使用ください。MOP-230/PCIDEに添付のIDEFMT.EXEは絶対に使用しないでください。CBIDEデバイスドライバをインストール後はPCIDEまたはPCIDE II 使用時でもCBIDE添付のIDEFMT.EXEをご使用ください。過去にお使いのIDEFMT.EXEはハードディスクから削除してください。

《 通常フォーマットの手順 》

1 ハードディスクからMS-DOS(PC DOS)を起動します。
Windows3.1が起動する場合は、終了させてください。

2 次のように入力します。
<CBIDEサポートソフトのインストール先のドライブがCの場合>
C:\>CBIDE\IDEFMT・ (下線部入力)

3 「対象ドライブの選択」画面が表示されます。ここで、MOPシリーズを選択して、・ キーを押してください。

4 「フォーマット種別の選択」画面で、「通常フォーマット」を選択して、・ キーを押してください。

5 通常フォーマットを実行しますか？と表示されますので、「はい」を選択して、・ キーを押してください。

以上で、フォーマットは終了です。(フォーマットされたMOディスクはスーパーフロッピィフォーマットのIBM形式となります。)


参 考

Scandiskのバージョンによってはエラーとなりますが、正常にご使用いただけます。

《 クイックフォーマット 》

すでにMS-DOSでフォーマット済みのMOディスクをフォーマットする場合、クイックフォーマットを実行すると、フォーマット時間を短縮することができます。
ただし、フォーマットの形式が、IBM形式及びセミIBM形式以外(例:Windows95でフォーマットしたものなど)では、クイックフォーマットを実行できません。その場合は、通常フォーマットを実行してください。

手順　前ページ《 通常フォーマットの手順 》を参照し、手順4の「フォーマット種別の選択」画面で「クイックフォーマット」を選択します。その後は画面の指示に従ってください。フォーマット後の形式は、最初にフォーマットされていた形式のままです。

付録1 困った時には

● Windows95でご使用の場合

CBIDEを初めて挿入した際に、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示がされない

原因 Windows95の32ビットPCMCIAドライバがインストールされていない場合があります。

対処 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』→『ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ』で「PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)」が32ビットになっているか確認してください。32ビットになっていない場合は、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『PCｶｰﾄﾞ』でPCカードウィザードを起動し、PCMCIAのドライバを32ビットにしてください。操作についての詳細は、〔3.1.1 インストールの前に〕の・ (P15)を参照してください。

CBIDE及びポータブルシリーズが正常に認識されているのに、CBIDEを抜き差しすると動作が不安定になる

原因 CBIDEの動作を終了させないままで抜いている場合があります。

対処 CBIDEをPCカードスロットから抜くときは、必ずタスクバー上の『PCｶｰﾄﾞ』アイコン、または『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『PCｶｰﾄﾞ』でカードの動作を終了させてください。(〔3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項〕(P25)参照)

CBIDE16bitモードで、デバイスマネージャでのポータブルシリーズの認識は正常だが、実際の動作がおかしい

原因 CBIDE16bit高速アクセスモードが使用できない場合があります。

対処 以下の手順で変更し、通常モードで試してみてください。

① 〔3.3 インストールされた情報を削除するには〕(P28) を参照し、現在のドライバ情報を削除します。

② 〔3.1.2 インストール〕(P18) を参照し、再度インストールを行ってください。その際、手順 4 「インストールするドライバの選択」画面で、『CBIDE16 (16ﾋﾞｯﾄ通常ﾓｰﾄﾞ) 』を選択します。インストールが終了するとモードが変更されます。

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』-[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]の「接続別に表示」でCBIDEが認識されているのに、それをクリックしても、ポータブルシリーズの表示がされない。（【3.1.4 インストール終了後の確認】(P21)での確認時）

原因１ **ポータブルシリーズの電源がOFFになっている、またはポータブルシリーズがCBIDEと正しく接続されていない場合があります。**

対処 **ポータブルシリーズとCBIDEの接続が正しく行われていることを確認してください。（【第2章】(P11)参照）**
また、ポータブルシリーズの電源がONになっていることを確認してください。

原因2 **CBIDEサポートソフトのインストールが正常に行われていない場合があります。**

対処 **【3.3 インストールされた情報を削除するには】(P28)にて、一度ドライバを削除後、カードを抜き、【3.1.2 インストール】(P18)を参照の上、もう一度インストールし直してください。**

原因3 **Windows95が割り当てたI/Oポート及びIRQが他のデバイスと重複している場合があります。**

対処 **『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』→『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ』の［接続別に表示］にて、CBIDEをクリックし（詳しくは【3.1.4 インストール終了後の確認】(P21参照）、画面左下の[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。表示されたリソースをクリックし、IRQの番号をメモします。【3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P25)を参照の上、PCカードを抜きます。『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ｼｽﾃﾑ』→『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ』の［接続別に表示］にて、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」を選択し、画面左下の[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。「ﾘｿｰｽの予約」-「割り込み要求」-[追加]ボタンと順にクリックし、先ほどメモした内容を入力します。入力後、[OK]ボタンをクリックし、CBIDEのカードを挿入し、Windows95を再起動します。**

原因4 各ポータブルシリーズのマスタ/スレーブ切り替えスイッチの設定がスレーブ(S)になっている場合があります。

対処 マスタ/スレーブ切替スイッチを確認した上で、マスタ(M)に設定してください。

デバイスマネージャで、CBIDEカードに、'！'マークがつく

原因 ポータブルシリーズのドライブが正常に認識されていません。

対処1 【3.3 インストールされた情報を削除するには】（P28）にて、一度ドライバを削除後、カードを抜き、【3.1 Windows95へのインストール方法】（P13）を参照の上、もう一度インストールし直してください。

対処２ PC-9821シリーズの98NOTEメニューで、『16Mバイトシステム空間』を「使用する」の設定にしてください。

PCカードのプロパティ（『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「PCｶｰﾄﾞ」をダブルクリック）で、「I-O DATA CBIDE」の頭に黄色の'？'マークがつく

原因 CBIDEサポートソフトのインストールが正常に行われていない場合があります。

対処 【3.3 インストールされた情報を削除するには】(P28)参照してインストールされた情報を削除してください。次に、【3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P25)を参照してカードを抜いてから、もう一度インストールし直してください。

CardBusモードでサスペンドから復帰した後に、ポータブルシリーズのドライブにアクセスすると、ハングする。

対処 サスペンド復帰後に、【3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P25)を参照してカードを抜いてから、再挿入するようにしてください。

PC98-NXシリーズで、CDPシリーズ及びCBIDEカードを使用してWindows95を再セットアップするには？


注 意

以下の・、・ の作業はハードディスクからOSが起動できない状態では、実行できませんので、前もって準備しておいてください。

・ システムインストールディスク（起動用）のバックアップディスクの作成
1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
PC98-NXシリーズ添付のシステムインストールディスク(起動用)のバックアップディスクを作成してください。
(作成方法の詳細は［1.5 実行用ディスクの作り方］を参照し、「サポートソフトウェア」を「システムインストールディスク(起動用)」に読み替えてください)

ここで作成したバックアップディスクを、以下セットアップディスクと呼びます。

・ セットアップディスクの書き換え
①添付のCBIDEサポートソフト内の「CBIDE365.SYS」と「CD16_DV.SYS」をセットアップディスクのルートディレクトリにコピーしてください。

②セットアップディスク内の「CONFIG.SYS」の内容を以下の内容に書き換えます。

```
FILES=20
BUFFERS=10
LASTDRIVE=Z
DEVICE=A:\HIMEM.SYS
DOS=HIGH
DEVICE=A:\BILING.SYS
DEVICE=A:\JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=A:\JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=A:\JKEYB.SYS /106
DEVICE=A:\ANSI.SYS
DEVICE=A:\CBIDE365.SYS /V
DEVICE=A:\CD16_DV.SYS /D:PCMCIACD
```

③セットアップディスク内の「**AUTOEXEC.BAT**」の内容を以下に書き換えます。

```
@ECHO OFF
A:\SMARTDRV /X
A:\MSCDEX.EXE /D:PCMCIACD /L:Q
A:\SYSRESTV
```

・ Windows95の再セットアップ


注 意

1)CBIDEカード（16ビットモード）はOS起動前にPCカードスロットに挿入し、パソコンの電源を落とすまでは抜かないでください。
2)PCカードスロットにはCBIDEカード（16ビットモード）のみ挿入してください。他のPCカードは挿入しないでください。

①CBIDEカード(16ビットモード)とCDPドライブを接続し、PCカードスロットに挿入します。
（詳細は、【第2章 CBIDEとﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙｼﾘｰｽﾞの接続】(P11)、【4.1.3 CBIDEとパソコンの接続】(P33)を参照してください）

②セットアップディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、パソコンを起動します。CBIDEカード、CDPドライブが認識された後に、Windows95再セットアッププログラムが起動します。

③表示されるメッセージに従って、再セットアップを行ってください。

④再セットアップが終了したら、PCカードスロットからCBIDEカードを取り出してパソコンを再起動してください。

・ **CBIDE365.SYSのオプション**

〔オプション〕

/V	詳細情報を表示します
/IO=	I/Oポートアドレスを指定します。 180、190、1A0のいずれかを指定します。（デフォルトは180） 180…180-187、386-387を使用します。 190…190-197、396-397を使用します。 1A0…1A0-1A7、3A6-3A7を使用します。
/MA=	CBIDEカードを認識、初期化するためのメモリセグメントアドレスを指定します。 （デフォルトはD000） C000,C400,C800,CC00,D000,D400,D800,DC00のいずれかを指定します。

・ **CBIDE365.SYSのエラーメッセージ**

〔エラーメッセージ〕

カードが見つかりません。

(1)カードが挿入されていません。

(2)設定した（またはデフォルトの）メモリ空間がUMB/EMSになっています。

オプションの記述が違います

オプションの記述が間違っていないか確認してください。

● Windows3.1,MS-DOS(PC DOS)でご使用の場合

ポータブルシリーズにアクセスすると、「準備ができていません…」と表示される

原因 CBIDEカードが抜かれている状態か、CDPシリーズの場合は、CDが挿入されていないこともあります。

対処 CBIDEカードを挿入してください。カードが挿入されているCDPシリーズの場合は、CDを挿入してください。

CBIDEまたはポータブルシリーズが認識されない

原因1 PCカードスロットにCBIDEが正しく接続されていない場合があります。

対処 【4.1.3 CBIDEとパソコンの接続】(P33)を参照して、再度取り付けを行ってみてください。

原因2 サポートソフトのインストールまたはCONFIG.SYSでのIDE16_98(DV).SYSの設定及びAUTOEXEC.BATでのMSCDEX.EXEの設定が正しく行われていない場合があります。

対処 【4.1.2 インストール】(P31)を参照して、再度インストールを行ってみてください。また、起動ドライブのCONFIG.SYSに以下の記述が追加されていることを確認してください。

例)NEC製パソコンで起動ドライブ･･･Aドライブ

(使用するポータブルシリーズがCDPシリーズの場合)

・**CONFIG.SYS**に追加される内容例

```
DEVICE=A:\CBIDE\IDE16_98.SYS
                              ※DOS/Vマシンの場合
                                IDE16_DV.SYS
DEVICE=A:\CBIDE\CD16_98.SYS /D:CD16_001
                              ※DOS/Vマシンの場合
                                CD16_DV.SYS /D:CD16_001
```

・**AUTOEXEC.BAT**に追加される内容例

```
A:\DOS\MSCDEX.EXE /D:CD16_001
```

対処 パソコン起動時にエラーメッセージが表示される場合は、どのドライバを読み込んだところで表示されるかを確認してください。エラー内容（ドライバ別）を次ページ以降に記述してありますので、参照してください。

⟨IDE16_98(DV).SYS関連エラーメッセージ⟩

オプションの記述が違います.

【4.2 ドライバの詳細】(P37)を参照して、オプションの記述が間違っていないか確認してください。

カードサービスが常駐していません.

PCカードドライバ（ソケットサービス／カードサービス）をインストールしてください。詳しくはパソコンのマニュアルを参照するかパソコンのメーカーへお問い合わせください。

CBIDEカードが見つかりません.

① PCカードスロットにCBIDEが正しく接続されているか確認してください。
② CONFIG.SYS中のEMM386.EXEまたはVMM386.EXE等のメモリマネージャにUMB禁止オプションを付加してください。(【4.1.4 インストール終了後のCONFIG.SYSの例】(P34)参照)

RequestIOに失敗しました.

/IOオプションで指定したI/Oポートアドレスを変更してください。（【4.2 ドライバの詳細】(P37)参照）

RequestWindowに失敗しました.

/MEMオプションでメモリ空間の指定を変更してください。（【4.2 ドライバの詳細】(P37)参照）

⟨CD16_98(DV).SYS関連エラーメッセージ⟩

オプションの記述が違います.

【4.2 ドライバの詳細】(P37)を参照して、オプションの記述が間違っていないか確認してください。

CBIDEカードが初期化されていません.

IDE16_98(DV).SYSがインストールされてません。
IDE16_98(DV).SYSのエラーメッセージをご確認ください。

使用可能なドライブが接続されていません.

ポータブルシリーズが認識できません。接続、パワースイッチ及びマスター／スレーブ切り替えスイッチを確認してください。

⟨MSCDEX.EXE関連エラーメッセージ⟩

Device driver not found: 'xxxxxxxx' No valid CDROM device drivers selected

CD16_98(DV).SYSの/D:オプションで指定したデバイス名とMSCDEXの/D:オプションで指定したデバイス名を同じにしてください。

Not enough drive letters available

CONFIG.SYSでの 'LASTDRIVE=' の設定を 'Z' に変更します。
CONFIG.SYSにLASTDRIVE=の記述がない場合は、'LASTDRIVE=Z'の1行を追加してください。


注 意

ネットワークを使用している場合には、LASTDRIVEを変更すると、ネットワークドライブ名が変化するので、ご注意ください。

⟨ DD16_98(DV).EXE関連エラーメッセージ ⟩

CBIDEカードが初期化されていません.

IDE16_98(DV).SYSがインストールされてません。IDE16_98(DV).SYSのエラーメッセージをご確認ください。

有効なドライブが接続されていません.

HDPシリーズまたはMOP-230が認識できません。接続、パワースイッチ、マスター／スレーブ切り替えスイッチを確認してください。

● CDPシリーズの一般的なトラブル

イジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこない

原因1 CD-ROMドライブの上に物がのせられている場合があります。

対処 CD-ROMドライブの上には物を置かないでください。

原因2 CDトレイに何かが引っ掛かっている場合があります。

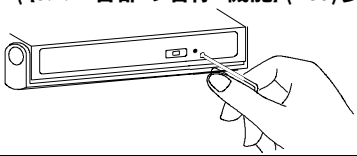
対処 下記の方法を参照して、CDトレイを引き出してください。

注 意

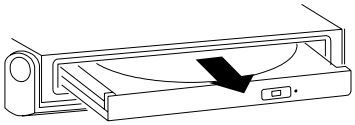
1)次の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。
2)次の操作は、必ずWindowsを終了し、CDPシリーズ及びパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。
3)ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。
（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）
4)次の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

<用意するもの>
太さ1.3mm程度、長さ55mm以上(指で持つ部分を除く)の針金 1本
※大きめのペーパークリップを伸ばしても使用することができます。

1 イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。
（「5.1.1 各部の名称・機能」(P39)参照）



2 1でCDトレイが15mm程度前に出るので手で更に引き出し、CDを取り出します。



CDを取り出した後、CDトレイを軽く押し戻してください。
この方法で引き出せない場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

CDPシリーズのパワーランプが点灯しない

原因1 CDPシリーズの電源コードが接続されていない場合があります。

対処 電源コードがAC100Vのコンセントに確実に接続されていることを確認してください。

原因2 CDPシリーズが故障している場合があります。

対処 弊社修理係にご依頼いただくかサポートセンターへご相談ください。

BUSYランプが点灯しない

原因1 CDがCDトレイに確実に入っていない場合があります。

対処 CDがCDトレイに確実に入っていることを確認してください。

原因2 ケーブル等が確実に接続されていない場合があります。

対処 接続ケーブルの接続を確認してください。

音が出ない

原因1 CDがCDトレイに確実に入っていない場合があります。

対処 CDがCDトレイに確実に入っていることを確認してください。

原因2 CDが変形や破損していたり、汚れている場合があります。

対処 変形や破損のないCDをご使用ください。また、CDが汚れている場合は、汚れを取り除いてからご使用ください。

原因3 音声データが入っていないCDをCDトレイに入れている場合があります。

対処 音声データが入っているCDを使用してください。

原因4 各機器を接続しているケーブルが確実に取り付けられていない場合があります。

対処 スピーカーやその他、各ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

原因5 スピーカーを接続していない場合があります。

対処 スピーカーの接続をしてください。

原因6 スピーカーのボリュームが最小になっている場合があります。

対処 スピーカーのボリュームを上げてみてください。

ヘッドホンから音が出ない

原因1 ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。

対処 ヘッドホンボリュームの音量を上げて(左に回す)みてください。

原因2 ヘッドホン端子が確実に接続されていない場合があります。

対処 ヘッドホン端子などの接続を確認してください。

原因3 ヘッドホンが故障している場合があります。

対処 他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常か確認してください。

付録2 ハードウェア仕様

●CBIDE

(PCカード規格準拠(Type II) CardBus/16bit両用IDE PCカード)

型式番号	CBIDE	
モード	CardBusモード	16bitモード
カード仕様	PCカード規格準拠	
インターフェイス	Enhanced-IDE	
選択可能I/Oアドレス	任意の連続した16バイト	180h～187h,386h～387h 190h～197h,396h～397h 1A0h～1A7h,3A6h～3A7h
占有メモリ	任意の連続した16バイト	任意の連続した4Kバイトメモリ空間※
選択可能IRQ	任意の割り込み(ただしWindows95のときのみ使用)	
入力電源	+3.3V±5%	+5V±5%
消費電流	MAX60mA	MAX20mA
外形寸法	85.6×54.0×5.0(mm)	

※32ビットメモリマップ転送を使用する場合は、128Kバイトのメモリ空間をオープンしなければなりません。

●CDP-FX24(CD-ROMドライブ)

型式番号	CDP-FX24
データ転送速度	標準モード :平均 150KB/sec 24倍速モード:最大 3600KB/sec
アクセスタイム	平均 150ms
バッファメモリ	256Kbytes
ヘッドホン出力端子	3.5mmステレオミニジャック
ヘッドホン出力レベル	20mW(32Ω)
LINE出力端子	3.5mmステレオミニジャック
LINE出力レベル	1.0Vrms
インターフェイス	Enhanced-IDE
対応フォーマット	CD-DA CD-ROM Mode1 CD-ROM Mode2 (CD-ROM XA [Video CD,Photo CD]) Multi-Session CD-I Enhanced CD (CD Extra,[CD PLUS])
使用温度範囲(℃)	+5℃～+35℃ (結露なきこと)
使用湿度範囲(%)	8%～80% (結露なきこと)
電源	DC 5.4V
外形寸法	181(W)×148(H)×23(D)mm
重量	約550g

●HDPシリーズ(ハードディスクドライブ)

型式番号	HDP-3.2G	HDP-4.1G
データ容量	約3,200Mバイト※	約4,100Mバイト※
インターフェイス	Enhanced-IDE	
使用温湿度範囲	温度5～40℃ (パソコンの動作する範囲であること) 湿度20～80% (結露なきこと)	
消費電源	DC 5V±5%	
消費電流	+5.0V･･･Max1.6A	
外形寸法	76(W)×29(H)×140(D)mm	
重量	約260～330g	

※本容量は、アンフォーマット時の値を示しています。フォーマット後は若干容量が変化します。

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CBIDE Family」係 宛

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CBIDE Family」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン(パソコン通信)

インターネット　http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET　アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve　アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS－NET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ4(LIB 4)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「CBIDE Family」 バージョンアップ係　宛

電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「CBIDE Family」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。